

上田元将補講和紹介（その2）

上田元海将補（元第1術科学学校長）の講話集から数点をシリーズ紹介する。

15. 8. 12

鳩に負けるな！人間だろ！

RR 上田

鳩レース・・・偶に耳にする話である。一般人の我々は、鳩レースと言っても、鳩の帰巢本能を利用したレース位しか知識が無い。

ヨーロッパで、スペイン～デンマークの長距離レースは、なかなかのものであるが、日本でも短距離、中距離、遠距離のレースが行われている。

日本青森の大間崎、近海マグロ漁で有名だが、この地から名古屋まで約800キロのレースに係わる記事を読んだ。

早朝大間崎を一斉に飛び立ち、名古屋方面の鳩舎に1000羽の鳩が向かう。

この中で優勝した一羽の鳩、飛び立つ前が体重650グラム、夕方の4時、約12時間のフライトで、体重はナント4百数十グラム。飛行速度は約67km/h。

凄いレースだ。体重をたったの12時間で3分の1減らす厳しいレースである。この試練に強靱な体力と気力で飛び切る鳩がいるのである。

人間様も、胡坐をかくことなく、鳩に負けない体力を練成し、この基盤の上に発揮する気力をもって、頑張ろう。

なお、やはり鳩にも、体質、特徴があって、中距離に合う鳩、長距離に合う鳩・・・といるそうである。中距離型を幾ら鍛錬しても長距離型には合わないそうである。やはり、適材適所である。

通勤の途次、鶴見駅の広場に群がる鳩がいる。でっぴりと太った鳩が多い。これを見るたびに、「こいつら、ヨーロッパのレースに出すとしたら、訓練計画は・・・」と考え、「この太りでは、東京タワーへ！と言っても、途中で墜落だな！」と評価していた。私の判断は、正しかったように思う。でも、鍛えてみないと、やはり答は出ないか！とも思う通勤路である。

こうした鳩の育成・・・それは、鳩の特殊能力を引き出すため、近親交配だそうである、よって、交配～出産～評価という試行を何回も繰り返しつつ「特殊能力の鳩ちゃん」を得るのだそうだ。 いやいや、レースに勝つには、中長期の計画と実行力が必要なのだ。